

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学校関係者評価の基本方針

企業・業界団体・学術機関の有識者等との連携により、各専門分野における知見を活かして各学科の教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。

開催日 令和6年6月11日（火）15時00分～16時30分

場 所 南海福祉看護専門学校 zoom開催

評価項目	現状・達成目標	課題と今後の改善方策	学校関係者の評価・提言
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。</p>	<p>「人間（ひと）を大切に」という教育理念のもとに、</p> <p>①勤勉であること、 ②人・ものを大切にすることを ③全ての人に明るく対応できること ④基本的生活習慣を正しく確立すること ⑤公共心、協調性を身につけること ⑥目的意識・向上心をもち積極的であること</p> <p>の6つの教育目標を掲げている。</p>	<p>課題</p> <p>教育理念等は、学生便覧に掲載し、ホームルームにて学生へ伝えているが、理解に乏しい。引き続き学生及び保護者への周知が課題。</p> <p>改善策</p> <p>入学説明会を開催し、同日に保護者会も開催して周知する。</p>	<p>○ 学生が教育目標を意識しながら過ごすために、社会人基礎力・年間の自己目標を記載させて定期的に自己評価をする時間を設けてはどうか。</p> <p>○ 保護者懇談会を学校や地方で開催しているが参加者は少ない。しかし、授業や学生生活、就職について不安をもって参加される保護者が多いので、全体的に参加者が少なくても開催していくことが大事である。</p> <p>○ 入学式の日が保護者は一番集まりやすいので、この日に保護者会を開催するのも有効である。</p>
<p>(2) 学校運営</p> <p>目的等に沿った運営方針が策定されているか。</p>	<p>期初に年間事業計画を作成。隔週開催の運営会議、月1回の職員会議にて運営の進捗を確認。その他、学科会議にて各分野に沿った方針を確認。</p>	<p>課題</p> <p>コンプライアンス意識を高める取り組みが必要。</p> <p>改善策</p> <p>法律やガイドライン等を学ぶだけでなく、事例活用や社会的情勢を取り入れた研修を行う。</p>	<p>○ 行動が就業規則に反していないか等を確認できるコンプライアンス意識向上の取り組みが必要である。</p> <p>○ コンプライアンスを意識して行動できるよう、日々の行動計画を明確に遂行する。</p> <p>○ 運営方針は、期初に明確であるので、進捗管理を確実に実行しているか。</p>
<p>(3) 教育活動</p> <p>教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。</p>	<p>各学科、規程に則り、教育課程を定めており、選択科目や独自科目において本校の特色をだしている。</p> <p>3学科共通の多職種連携教育は段階的に発展させて継続している。</p>	<p>課題</p> <p>学生の現状と到達目標への課題に対する教員の指導力及び対応力を上げる必要がある。</p> <p>改善策</p> <p>学生の現状を把握し、学習習慣を身につけるよう教員は研修で指導力を養いながら対応する。</p>	<p>○ 大学ではF D S D推進委員会が事務職員研修を2日間、教員に対しては外部講師による研修を行い、オンデマンド視聴もできるよう整えている。教職員が組織的に必要な知識や技能を身につけ、能力や資質向上に努めている。</p> <p>○ 専門分野における実践的な職業教育について、介護社会福祉科の特色でもあるフィールドワークは自己覚知する場になっている。学校で学んでも現場に出ないと分からないことがあり、振り返りの部分でも効果が出ていると思うので、継続して取り組んで欲しい。</p>

<p>(4) 学修成果</p> <p>就職率の向上が図られているか。</p>	<p>学校運営組織、キャリア支援部に各学科の教員が担当として編成している。各学科会議にて連携し本校学生のキャリア形成と就職活動を推進及び支援をしている。</p>	<p>課題</p> <p>就職活動の早期始動の意識付け。看護学科は国家試験の合格が就職に左右するため、受験対策の強化が必要。</p> <p>改善策</p> <p>学生の就職に対するニーズや就職先受入状況に合わせた支援を行う。看護学科は国試対策の担当教員を設けて、通年を通して講座を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護社会福祉科の留学生に対しての国家試験対策と看護学科の国家試験対策をともに強化し、合格率をあげることが目に見えての学修成果である。 ○ 学内就職ガイダンスは、就職をリアルに捉えている印象があるので、ミスマッチを軽減するいい機会である。保育現場は多種多様なので、イメージができていない印象を持った。学生は実習前に保育現場の人と話せる機会が良い経験であり、実習に挑みやすい。
<p>(5) 学生支援</p> <p>進路・就職に関する支援体制は整備されているか。</p>	<p>クラス担任制による個別指導の実施。学外就職ガイダンスへの押し出し、模擬面接、スーツディ等の実施により、早期の就職意識の高揚を促している。</p> <p>心理カウンセラーが月に2回来校して、カウンセリングを行っている。(予約制)</p>	<p>課題</p> <p>相談内容が複雑化し、対応が難しくなっている。</p> <p>改善策</p> <p>相談窓口を多く設けて、学生個々の問題を早期に察知できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生からの相談内容が複雑な問題が多く、対応困難な内容が増えている。また、保護者対応も難しくなっていて、外部の専門機関との連携も必要になってくる。 ○ 高等教育修学支援新制度により、学費の納入時期や金額のパターンがいろいろあるので、運用や管理体制の強化が必要。
<p>(6) 教育環境</p> <p>施設整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</p>	<p>教育上必要な機器・設備については購入及び修繕を随時行い整備する。</p> <p>防災体制の整備。</p>	<p>課題</p> <p>視聴覚機器等の不具合。Wi-Fi通信の不安定の整備。</p> <p>改善策</p> <p>視聴覚機器等は日頃の整備と不具合が生じた場合は速やかに改善する準備をしておく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な点検を実施し、購入時期や使用状況などを把握して、ある程度不具合になるであろう予測を立てる必要がある。 ○ 看護学科については、防災に対する体制について防災訓練と科目を連携させ、看護の視点で行動できるように指導が必要。
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>学生募集活動は、適正に行われているか。</p>	<p>大阪府専修学校各種学校連合会が定めた専修学校版AO入試に関する運用基準に沿って、スケジュール、留意事項等を遵守し、適正に行っている。</p>	<p>課題</p> <p>受験生が専門学校に求めるニーズを掌握。</p> <p>改善策</p> <p>アンケートをとり、効果的な発信方法を検討する。SNSを有効に活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 募集活動での情報発信の方法や戦略の強化を行っていると思うが、その効果を確認して常に改善していく取り組みが大事ではないか。 ○ 介護社会福祉科に関しては、留学生を意識した受け入れ体制や募集活動手段を拡げていけば効果があると思う。 ○ 大学も学生募集に危機感をもっており、対策としては留学生、年齢層の拡大、リスキングを考えている。また、2～3年後は更に悪化する予測なので、学科の再編成等も考えている。

<p>(8) 財務</p> <p>中長期的に財務基盤は安定しているといえるか。</p>	<p>18歳人口の減少により3学科ともに年々入学志願者が減ってきたが、ここ数年の財務状況は安定していた。</p> <p>2023年度から更に入学志願者が減り、不安定になってきた。</p>	<p>課題</p> <p>こども未来学科の入学者増加 日本語能力の高い留学生の確保</p> <p>改善策</p> <p>こども未来学科は、オープンキャンパスを増やして来場者数を増加させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学科の再編成と入学定員を適正な人数に整備する必要がある。 ○ 外国人留学生の需要を把握し、受け入れる体制を検討していくことも財務状況の改善につながる。 ○ 物価もすべてにおいて高騰しているので、学費の値上げを検討する必要もある。
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</p>	<p>学校教育法、各学科に係る法令及び規定、専修学校設置基準等に基づき適正な運営を行っている。</p>	<p>課題</p> <p>教職員のコンプライアンス等意識の維持・向上。 ハラスメントが発生しない環境整備。</p> <p>改善策</p> <p>外部機関が実施する研修に積極的に参加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生へのハラスメントが発生しないよう研修を行うことに加えて、カスハラを受けないよう、定義と対処方法を学校として決めて周知徹底をする必要がある。 ○ コンプライアンスの正しい知識と理解が得られるよう外部講師を招聘して研修を実施すると有効である。 ○ 文科省や厚労省から発信される情報は、大阪府私学課から管轄の学校へ発信される。その内容を教職員で共有して適切な対応を図ること。